

令和2年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)
令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

公益社団法人砥粒加工学会

単位:円

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額(参考)
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	2,000	2,000
基本財産受取利息	2,000	2,000
受取入会金	100,000	70,000
受取入会金	100,000	70,000
受取会費	27,664,000	27,900,000
正会員受取会費	6,674,000	7,080,000
学生会員受取会費	380,000	340,000
賛助会員受取会費	12,400,000	12,200,000
分科会会員受取会費	0	0
専門委員会会員受取会費	8,210,000	8,280,000
事業収益	22,749,071	23,080,000
学術講演会収益	7,355,000	7,390,000
研究・見学・講演・講習会収益	1,925,000	1,650,000
オープンセミナー収益	90,000	0
不定期刊行物収入	0	0
出版収益	6,120,500	6,815,000
関西地区部会収益	600,000	400,000
北陸信越地区部会収益	694,500	698,000
分科会収益	0	0
専門委員会収益	3,280,000	3,930,000
国際会議収入	0	0
賛助会員会収益	400,000	490,000
学会活性化フォーラム収入	140,000	
先進テクノフェア収益	2,069,071	1,647,000
次世代ものづくり技術研究会	75,000	60,000
雑収益	945	5,045
受取利息	945	5,045
経常収益計	50,516,016	51,057,045
(2) 経常費用		
事業費	45,664,632	46,163,912
学術講演会支出	5,364,120	5,172,000
研究・見学・講演・講習会支出	1,206,000	1,240,000
贈賞支出	451,800	705,800
オープンセミナー支出	200,000	140,000
不定期刊行物支出	97,652	0
出版支出	11,184,600	11,545,061
関西地区部会支出	1,293,000	1,073,000
北陸信越地区部会支出	1,698,260	1,682,260
分科会支出	0	0
専門委員会支出	14,176,470	14,541,162
国際会議支出	607,310	622,880
賛助会員会支出	899,044	1,060,800
学会活性化フォーラム支出	240,000	0
学会活性化委員会支出	99,637	148,680
広報委員会支出	559,225	1,107,764
先進テクノフェア支出	1,645,260	1,284,500
次世代ものづくり技術研究会支出	175,000	160,000
給料手当	3,292,212	3,244,549
退職給付費用	175,175	175,175
水道光熱費	86,667	86,667
賃借料	1,863,200	1,873,614
租税公課	350,000	300,000
管理費	7,845,243	8,097,163
給料手当	1,083,388	969,151
退職給付費用	52,325	52,325
会議費	500,000	600,000
旅費交通費	2,433,120	2,552,520
通信運搬費	650,000	760,000
消耗什器備品費	0	0
消耗品費	450,000	500,000
修繕費	30,000	30,000
水道光熱費	43,333	43,333
賃借料	931,600	936,666
支払手数料	220,000	200,000
諸謝金	1,124,000	1,100,000
広報委員会支出	217,477	243,168
雑費	110,000	110,000
経常費用計	53,509,875	54,261,075
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,993,859	△ 3,204,030
評価損益等計	0	0
当期経常増減額(当期収支差額)	△ 2,993,859	△ 3,204,030
当期一般正味財産増減額	△ 2,993,859	△ 3,204,030
一般正味財産期首残高	14,534,350	17,738,380
一般正味財産期末残高	11,540,491	14,534,350
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000
III 正味財産期末残高	32,540,491	35,534,350

(注) 資金調達および設備計画はありません。